

## 時刻同期設定で使用する際の注意事項

### ES3M形 本質安全防爆構造 無線振動センサ/中継機

ES3M-VS形本質安全防爆構造無線振動センサおよび、ES3M-RE形本質安全防爆構造無線中継機を、時刻同期設定で使用する際の注意事項についてご案内いたします。



#### 対象製品

ES3M-VS形本質安全防爆構造 無線振動センサ

ES3M-RE形本質安全防爆構造 無線中継機

※標準品を基本とするカスタム仕様製品も含まれます。

#### 注意事項

時刻同期設定で使用した場合、以下のような理由でゲートウェイ（GW）との同期が外れた場合、センサや中継機の電池消耗が激しくなります。

- センサ⇄中継機、中継機⇄GW、センサ⇄GW（中継機を経由しない場合）の通信不良発生
- 中継機の電池が切れて、通信不良発生
- GWの電源がOFFの状態となり、通信不良発生
- PCの電源がOFFの状態や、スリープ・休止状態によりWSN Manager（製作・著作は村田製作所です）が起動していない場合（高機能GWに時刻同期設定を保存して使用する場合を除く）
- センサや中継機の電池交換により、次の起動タイミング指示が飛んだなど制御がうまく届かない場合

※時刻同期機能は、センサとGW（およびWSN Manager）が双方向通信をすることで、起動タイミングを合わせてデータを送信する機能のため、同期が外れたセンサは1分毎にセンサデータを送信し、GW（PC）からの受信信号を待ちます。受信信号がセンサに届かない場合、送信を繰り返すため、センサの電池が数日で切れる場合があります。

メンテナンスなどでGWやPCの電源はできるだけOFFしないようにご対応ください。

万一、電源がOFFとなる場合は、センサや中継機の電池が早く切れる可能性があります。

※GWやPCの電源が数日間OFFされる環境や通信が不安定な環境では、ブロードキャスト設定での使用を推奨いたします。

ブロードキャスト設定で防爆中継機を使用される場合は、防爆中継機の電池が消耗しやすくなるため、バリア接続での使用を推奨いたします。